



県内主要産業の動向

2018年12月・2019年1月

◎順調 ○まずまず ◐やや低調 ●不調

業種	景況			コメント
	18年11月	18年12月	先行き	
金属洋食器	●	●	→	受注は低調に推移。ホテルやレストランなど業務用の受注は少ないが、「ふるさと納税」返礼品受注増により、繁忙な先もみられる。2月にドイツで開催される世界最大の見本市には16社が出展予定。海外への販路開拓に期待をかけるが、研磨工程などでの職人の高齢化や不足が課題。
金属 ハウスウェア	●	●	→	受注は引き続き低調。食品工場向けの業務用厨房機器などには動きがみられるものの、全体では動きは鈍い。国内市場が伸び悩む中で、アジアを中心とした輸出に活路を求める企業もみられる。職人の高齢化・不足により外注工賃も値上がりしており、収益の圧迫要因となっている。
作業工具	◐	◐	→	国内販売は、建築関連工具を中心にまず堅調な動き。しかし足下では、米中摩擦の影響による中国製品の流入などで一部に失速感。輸出も、東南アジア向けを中心に堅調ながら需要低下がみられる地域も。鋼材の価格高止まりや数量不足、消耗品類値上がりなどコスト上昇要因が続く。
電子部品 ・デバイス	◐	◐	→	受注は総じて弱含み。半導体製造装置向けは、中国を中心とした海外需要が減少。携帯端末向けは、スマホの販売不振により下押し圧力がかかっている。一方、自動車搭載用は、用途により明暗が分かれる。先行きは、海外経済の減速懸念などから慎重にみる向きが多い。
鋳物	○	○	↘	受注は一服感がみられる。東京五輪や災害復興に伴う建設需要は堅調を維持。工作機械や半導体は米中摩擦の煽りから勢いを欠く状況に。足下では、懸案であった原材料価格は落ち着き、今後、収益改善が期待されるが、海外経済の減速懸念から先行きを不安視する向きも。
金型	○	○	→	12月の受注はやや勢いを欠く。ビル向け建築金物は堅調。県央地区の暖房機器は例年並み。一方、自動車関連はこれまで好調の車載器関連に米中摩擦の影響からか翳りがみられた。手元の受注残は一定水準を確保しながらも、先行きの需要動向を懸念する声が聞かれた。
一般機械	○	○	→	内需は、航空機・金属素材が好調を維持。省人化目的の設備投資は底堅い状況が続く。外需は、米国向け航空機・宇宙関連が堅調で大型案件受注の声も聞かれた。自動車は北米向けを中心に安定した動き。足下では、中国情勢に注視しつつ、受注減への警戒感を強めている。



業種	景況			コメント
	18年11月	18年12月	先行き	
絹織物	●	●	→	十日町産地、五泉産地ともに低調。市場が縮小傾向にある中、原材料価格の高止まり、職人の高齢化や後継者不足など両産地の抱える課題は多く、先行きは不透明。そうした中、業界では和装のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取り組みや東京五輪でのPRなどで、着物の需要喚起に努める。
合織織物	●	●	→	春物生産期。受注期入りから3カ月を経過し、動きは鈍いが前年水準を確保。高級品需要は乏しいが、中価格帯には底堅い引き合いがある。2月末までが最生産期で、納期限も短くタイトな生産状況が続く。産地からは、商品開発力に限界があり、安定受注につながらないとの声も聞かれた。
ニット	●	●	→	春物生産期。店頭は気温低下でようやく冬物衣料が動き出したが、遅れを取り戻せず苦戦。受注は前年を下回る。一部では、夏物の展示会が始まっているが、店頭の不振もありバイヤーの反応は鈍い。そうした中、見附産地はイタリアで開催された展示会に参加し、和紙や竹を使ったニット製品をPRした。
木工家具	●	●	→	業務用では、飲食店舗関連を中心に相応の動きがあり大型受注もみられた。足下でも百貨店関連など受注の動きが続く。家庭用では、売上確保に依然苦慮する状況。在庫一掃セールを行う事業者もあるが、売上規模は少額にとどまる。組合は首都圏での恒例の大型催事に参加し製品PRを図る。
清酒	●	●	→	12月の出荷量は、県内・県外向けとも前年を下回った。最盛期であったが、消費者の節約志向などから、飲食店向け・スーパー向けとも伸び悩んだ。酒類別では、本醸造酒・普通酒が不振。暖冬が続いていることもあり、先行きも出荷の伸び悩みを懸念する声が多い。
米菓	◐	◐	→	12月の売上は前年並みを確保。需要期入りしており、定番品、おつまみ向け商品が堅調だった。1月も前年並みに推移。そうした中、各メーカーからは、消費者の健康志向の高まりを受けて、糖質オフやグルテンフリーの商品を投入する動きがみられた。
建設	◐	◐	→	公共工事は、予算発注の一巡により、足下で弱めの動きに転じている。発注者別では市町村、独立行政法人等で減少。民間工事は、製造業・運輸業などで底堅い動き。住宅建設は、消費税率引き上げを控えて、持家の着工により動きが出てきている。
大型小売店	◐	◐	→	12月の売上は前年を上回った。気温の低下により冬物衣料が堅調で、クリスマス商戦もケーキやゲームソフトなどの売れ行きが好調だった。一方、食品は青果や肉類などの価格低下が下押ししており、鍋関連の動きも鈍かった。足下では、本格化するバレンタイン商戦に期待。